

◇教育先進都市“いわき”の実現◇

求める子どもの姿（資質・能力）
ICTを適切かつ効率的に活用し
主体的に問題を発見・解決したり
自分の考えを形成したりできる子

【確かな学力】

よく考える子ども

確かな学力を身につけ学び合う子ども

- 見通しをもって粘り強く学習に向かうことができる。
- 自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- 相手の考えを尊重し、理解しようとして聞くことができる。
- 学びを振り返り、次の学習につなげることができる。

<実践内容>

- きめ細やかな指導で学習内容を定着させます。
 - ・「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業の充実
 - ・ICTを活用した授業の充実（デジタル教科書、タブレット端末）
 - ・“振り返りの時間”の確保と“補充・発展・繰り返し学習”の充実（ショートテスト、タブレット端末等の活用）
 - ・パワーアップタイムの活用
- 思考・判断・表現力を向上させます。
 - ・話し合い活動の工夫（根拠を明確にして話す、意図を考えながら聞く）
 - ・活用力を育てる場の工夫（学習課題・学習過程の工夫、活用力育成シート・ドリル等の活用）
 - ・言語活動の場面設定の工夫
 - ・読書活動の充実（図書館司書との連携、読書タイム、読み聞かせ、ベストリーダー賞、家庭読書の推進、六小の日の活用）
- 家庭学習の習慣化を図ります。
 - ・家庭学習の課題の工夫（授業とのリンク、個に応じた課題、自主学習）
 - ・家庭との連携（家庭学習カードの活用）
 - ・自己マネジメント力の育成（家庭学習の手引きの活用、内容の紹介や称賛）
 - ・タブレットの活用

<評価・チェック項目>

- ◇ 学習内容が定着している。
 - ・単元テスト、NRT（国語科、算数科）、
 - ・「授業スタンダード」チェックシート（学期1回）、ABCシート
- ◇ 自分の考えをもち、相手に分かるように書いたり話したり、相手の話を集中して聞いたりすることができる。
 - ・ノートの提出、授業中での観察
- ◇ 進んで読書に取り組んでいる。・読書カード ・図書の貸し出し数
- ◇ 家庭学習に自主的に取り組んでいる。（学年×10分+20分）
 - ・家庭学習カードへの記入（毎日記入、月や学期ごとの反省）
 - ・提出物の確認
 - ・ミライシードによる学習状況確認

【教育目標】

ゆたかな心とたくましく生きる強い意志とかしこい知恵をもつ子ども
よく考える子ども ・ 思いやりのある子ども ・ 健康な子ども

【豊かな人間性】

思いやりのある子ども

規律を守り、互いのよさを認め合う子ども

- 時と場に応じたさわやかなあいさつができる。
- ルールを守ってみんなのために奉仕することができる。
- 相手の気持ちを考え、思いやりをもって接することができる。
- めあてをもって最後までやり抜くことができる。

そのために、このような手立てをとります

<実践内容>

- 道徳科・特別活動を核とした道徳教育の充実を図ります。
 - ・「考え、議論する道徳」の充実と重点価値の設定（節度・節制、親切・思いやり、規則の尊重、生命の尊さ）
 - ・地域を生かした体験活動における道徳実践の充実
- 自分を生かし、互いを認め合う集団活動を充実させます。
 - ・学級や異年齢集団での主体的な活動の充実
 - ・生徒指導の機能を生かした活動の充実（自己決定の場、自己存在感、共感的な人間関係）
 - ・交流及び共同学習（校内・校外）の継続と充実
- 規律ある態度を育成します。
 - ・「けじめのある生活、礼儀正しく接する、約束やきまりを守る」の意識化と実践（家庭との連携）
 - ・オアシス運動の励行（会釈等を含む、気持ちのよい挨拶）

<評価・チェック項目>

- ◇ 体験活動などを通して、温かい交流をすることができている。
 - ・感想文や日記、記録文、写真記録やホームページの様子、お礼の言葉やお礼状などから
- ◇ 自他を理解し認め合い、誰とも協力することができている。
 - ・縦割り班の様子、委員会活動やクラブ活動の様子、振り返りシート、学校アンケート等から
- ◇ 進んであいさつし、決まりを守って生活することができている。
 - ・振り返りシート、学校アンケート、帰りの会の振り返り等から

<学校・家庭・地域が一体となった教育の実現>

【よきパートナー】 家庭・関係機関「学校への熱い想い」

- 学校からの情報発信、家庭との連携・協力を努めます。
 - 学校評価アンケート（11月）、学校だより、学年だより、HP
- 授業公開や教育相談の充実を努めます。
 - 家庭訪問（5月・随時）、個別懇談（11月・随時）
 - 授業参観（年3回）、学校へ行こう週間
- 家庭と連携し、生活・学習習慣づくりを進めます。

【和と協働】 教職員「最大の教育環境は教師」

- 教師の同僚性を構築し、指導力の向上を図ります。
- 教育専門職としての使命感・重責を自覚し研修に励みます。
- 伸びや頑張りをはめ認めることで、児童の向上心を育みます。
- 教師・子ども・保護者が互いに支え合う学級づくりに努めます。
- 教育相談の充実を努め、積極的な生徒指導を推進します。
- 「平六小は今年も不祥事ゼロ」の継続に全力で立ち向かいます。

◇大切にしたい基本姿勢◇

- 子どもの命（心と体）を守る安全な学校
- 認め合う・支え合う・高め合う児童・教職員
- 家庭・地域とつながる学校
- 主体的・対話的で深い学びを実現する学校

【健康・安全・体力】

健康な子ども

基本的な生活習慣を身につけ、
進んで体力づくりをする子ども

- 体力を向上させ、元気に生活することができる。
- 健康の理解を深め、よい生活習慣を身に付けることができる。
- 食の理解に努め、感謝の心をもつことができる。
- 安全に留意し、規則正しい生活をするすることができる。

<実践内容>

- 基本的な生活習慣と健康な生活を確立させます。
 - ・食育の推進（朝ご飯、肥満予防）
 - ・生活習慣の指導の充実（早寝・早起き・歯磨き）
 - ・家庭への啓発と連携（健康な生活、感染症の予防、「六小の日」の過ごし方）
- 危険回避能力育成のための安全教育を充実させます。
 - ・交通安全、防犯教育の充実（地域との連携）
 - ・防災・減災教育の推進（震災・火災・水害・土砂災害等）
 - ・情報モラル教育の推進（ネットトラブル等）
- 体力、運動能力を向上させます。
 - ・運動身体づくりプログラムの継続と工夫（敏捷性、持久力の向上）
 - ・体育科や業間運動での意図的取組の実践
 - ・業間運動や自由遊び等の運動に親しむ機会の充実と継続

<評価・チェック項目>

- ◇ 早寝・早起き・朝ごはんが身に付いている。
 - ・年2回の朝食について見直そう、週1回の生活習慣チェック
- ◇ ハンカチ・ティッシュを身に付けている。
 - ・毎週水曜日の清潔検査
- ◇ 各種行事の振り返りを通して、安全意識を高めることができる。
 - ・避難訓練・交通教室・防犯教室等
 - ・実施内容や感想を学年だより等で発信
- ◇ 各種校内記録会などで自己目標を上回っている。
 - ・記録カードの活用
- ◇ 体力テストの数値が、県平均を上回っている。
 - ・自分手帳（4年生以上）の活用

【地域に輝く六小の子】 地域・学区「地域があり学校がある」

- 子どもたちの活動に地域の教育力を積極的に取り入れます。
 - 地域素材（自然・歴史）・人材の活用（万本桜・森林環境学習）
- 地域と協力して子どもの安全を守ります。
 - 交通安全協会や交通安全母の会、見守り隊等との連携
- 中学校や幼稚園等との教育連携を密にします。
 - 小中連携、いわき支援学校、幼稚園との交流